

大会名 Competition	第35回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-104	Year Month Day Time 2022 年 5 月 3 日 13 : 40
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チーム A		チーム B										
市立船橋	<table border="1"> <tr><td>13 1st</td><td>31</td></tr> <tr><td>28 2nd</td><td>25</td></tr> <tr><td>26 3rd</td><td>30</td></tr> <tr><td>29 4th</td><td>27</td></tr> <tr><td>0 T</td><td></td></tr> </table>	13 1st	31	28 2nd	25	26 3rd	30	29 4th	27	0 T		開志国際
13 1st	31											
28 2nd	25											
26 3rd	30											
29 4th	27											
0 T												
96 ●		113 ○										

主審:Crew chief
中道 凌平 秋田
副審:Umpire
伊勢 友春 秋田
佐々木 飛翔 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代科学技術高校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	高宮 大翔	CAP	25	2	6	7	0	4	／	諸星 然		8	0	4	0	2
5	×	永島 太一		8	2	1	0	3	5	×	武藤 俊太郎	CAP	16	0	6	4	2
6	／	大澤 奏太		7	1	2	0	2	6	／	境 アリーム		12	0	6	0	0
7	×	佐々木 慎太郎		4	0	2	0	3	7	×	介川 アンソニー 翔		41	2	16	3	2
8	×	羽賀 悠真		25	7	2	0	0	8	／	日下野 アスカ		12	0	6	0	2
9	×	飯田 碧偉		17	2	4	3	1	9	×	武内 優空		0	0	0	0	3
10	／	三宮 優真		0	0	0	0	1	10	×	澤田 竜馬		2	0	1	0	1
11	／	石井 康介		0	0	0	0	0	11		石森 健慎		-	-	-	-	0
12	／	鈴江 昭人		7	1	1	2	1	12	／	牛尾 温		0	0	0	0	0
13	／	諏訪 航平		3	1	0	0	1	13	／	堀井 敬太		2	0	1	0	0
14	／	斉藤 海惺		0	0	0	0	0	14	／	NNEBUJFE KELVIN CHEMELIE		4	0	2	0	0
15		長島 昊大		-	-	-	-	0	15	×	BASHIR FAISAL MUHAMMAD		14	0	6	2	0
16		浅沼 慶太		-	-	-	-	0	16		葦澤 空都		-	-	-	-	0
17		鷹野 永菜		-	-	-	-	0	17	／	フリッシュ ニコラス 聖		2	0	1	0	1
18		小澤 快音		-	-	-	-	0	18		高千穂 海璃		-	-	-	-	0
コーチ		斉藤 智海						0	コーチ		富樫 英樹						0
Aコーチ		中川 拓海						0	Aコーチ		津野 祐樹						0
合 計				96	16	18	12	12	合 計				113	2	49	9	13

※×:スターター 〳:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	25	26.04%	高宮 大翔
2	25	26.04%	羽賀 悠真
3	17	17.71%	飯田 碧偉

1	41	36.28%	介川 アンソニー 翔
2	16	14.16%	武藤 俊太郎
3	14	12.39%	BASHIR FAISAL MUHAMMAD

Score ranking[Game]

1	41	介川 アンソニー 翔	開志国際	2	25	高宮 大翔	市立船橋	3	25	羽賀 悠真	市立船橋
---	----	------------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	------

1Q、お互い様子を見るようにゆっくりとした立ち上がりだったが、市立船橋#8羽賀、#4高宮の3Pを皮切りに両チームともスピードアップ。開志国際は#7介川が得点を重ね10-18とする。市立船橋はディフェンスを激しくして開志国際のミスを誘うが、外角シュートが決まらない。5分ほど点数が動かない中、開志国際が走り始め、#6境、#10澤田、#15バシールらの連続速攻で一気に突き放し、13-31。

2Q、出だしから市立船橋が#4高宮と#13諏訪の3Pで追いつき21-33とするが、市立船橋のタイムアウト後、開志国際が#8日下野のドライブや#7澤田の3Pなどで21-42と再びリードを広げる。市立船橋は2度目のタイムアウトで流れを変えたいが、ここからは両チームともシュートの応酬。開志国際は#5武藤、#14ネブフィ、市立船橋は#8羽賀の3P、#9飯田のドライブなどで得点を伸ばし、41-56で前半終了。

3Q、両チームともシュート確率が上がり入れ合いが続く中、市立船橋は#8羽賀の3Pでじわじわと点差を詰めていく。開志国際は#6境、#7介川を中心にリバウンドを支配し速攻も出始め盛り返す。市立船橋が#5永島の3Pで対抗するも、67-86と開志国際がリードを広げた。

4Q、勢いのある開志国際が#8日下野のドライブや速攻を中心に得点を重ねる中、市立船橋は得点の機会が少なく、点差が開いていく。残り6分で開志国際は100点を突破、その後市立船橋もディフェンスや#9飯田の3Pで頑張りを見せたが、96-113で開志国際が勝ちを収めた。